

事務事業名		旅券事務					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり					担当	担当部	市民生活部	担当課	佐野総合窓口課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	市民生活係	担当課長名	永瀬 明子	
	施策	1 効率的な行政経営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2369	一般	2	1	22	旅券事務					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	22年度～ 年度		根拠法令 条例等	旅券法、栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例、佐野市旅券事務取扱要綱					
	実施方法		直営		事業分類		その他直接サービス提供事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
<ul style="list-style-type: none"> 一般旅券の発給申請受理、交付 訂正申請受理、交付 査証欄の増補申請受理、交付 紛失、焼失等の届出受理 返納の受理 未交付者への受取督促 		左記事業概要と同様						
旅券の交付に伴い、印紙等の売りさばきも行った。		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		旅券の申請等受理数	件	2,234	2,153	1,956	1,777	1,615
		旅券の交付数	件	2,199	2,113	1,953	1,805	1,669

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
② 旅券の申請者							
人口	人	123,182	122,582	121,522			

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

<ul style="list-style-type: none"> 旅券の発給申請等の案内を適切に行う。 申請された申請書等の正確かつ迅速な審査受理をする。 申請の種類により受付から受理までの処理時間が違ってくる。 旅券を正確かつ迅速に交付する。 		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		適正な旅券の申請等受理数	件	2,234	2153	1956	1777	1615
		適正な旅券の交付数	件	2199	2113	1953	1805	1669

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		休廃止した事務事業数	事業	130	89	115	110	105
		見直しの図られた事務事業数	事業	465	498	595	590	585

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	866	884	929			
	一般財源	千円	3,351	3,331	3,453			
	事業費計(A)	千円	4,217	4,215	4,382	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			臨時嘱託員報酬	3,475	臨時嘱託員報酬	3,475	臨時嘱託員報酬	3,589
			臨時嘱託員社会保険料	565	臨時嘱託員社会保険料	557	臨時嘱託員社会保険料	621
			消耗品費	59	消耗品費	61	消耗品費	50
			保守委託料	92	保守委託料	96	保守委託料	96
			機械等借上料	26	機械等借上料	26	機械等借上料	26
	人件費	人	3	3	3			
のべ業務時間	時間	83,179	77,257	63,766				
人件費計(B)	千円	323,651	304,469	251,300	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	327,868	308,684	255,682	0	0		

事務事業名	旅券事務	担当部	市民生活部	担当課	佐野総合窓口課	担当係	市民生活係
-------	------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成22年10月1日より県からの権限委譲により、旅券の申請・交付を開始した。開始にあたり、準備事務及び予算執行は年金係で担当し、10月1日からの申請・交付窓口が市民生活係となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成22年10月1日から栃木県全県下一斉に開始された。平成24年度までは希望者のみ各日曜日に県旅券センターで旅券を交付してきたが、平成25年度は日曜交付が隔週になり、平成26年度は廃止される。旅券センターでの日曜交付の廃止を受け、佐野市ではパスポートの交付時間を平成25年度から、平日は午後5時15分まで、延長窓口では午後7時まで旅券の交付ができるよう要綱を改正した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	申請に必要な戸籍謄本(抄本)が同フロアで取れるため便利である。旅券の受付時間を延長できないかなどの問合せあり。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	研修等で知識の習得をし、また、県旅券センターの指導を受け共有化・連携を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びつかない	理由・改善案	後期は、政策体系からは外れてしまったが、基礎的な住民サービスであるためやめることは出来ない。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	県からの権限委譲による事務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	法令に基づくものであり妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	職務に精通した職員の配置や研修等で知識の習得を図る。また、県旅券センターとの連携等で、申請書の審査や旅券の交付を正確かつ迅速に行う。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	分庁舎による各庁舎の窓口業務であるため、統合等はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事務を正確かつ迅速に行うために、臨時嘱託員報酬等の事業費及び人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	旅券申請者が国・県に収入印紙・県証紙で手数料を納めるため、市としては受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	県からの権限委譲により旅券事務が開始されたが、権限委譲が廃止となれば事業は終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					